

重度訪問介護従業者養成研修 通信問題

特定非営利活動法人 拓人こうべ

テキストを読んで問題を解いてください。
解答後は下記の提出先に郵送してください。

受講生

- ・氏名
- ・生年月日
- ・住所
- ・連絡先

通信問題提出先

〒653-0811

兵庫県神戸市長田区大塚町6丁目 1-1-1F

拓人こうべ 研修担当

(1) 重度肢体不自由者の地域生活等に関する知識

テキストP4~9 「ヘルパーの職業倫理」 参照

問題1. ホームヘルパーがとるべき態度について、以下の選択肢から間違っているものを1つ選び、丸をつけて下さい。
<5点>

- ① 利用者の話は、感情的に反応せず、つとめて冷静に聞くべきである。
- ② 利用者がヘルパーと話題を共有することによって信頼感が生まれるよう、利用者の話を受け止める姿勢がヘルパーに求められる。
- ③ 利用者の話がとりとめのないものであっても、拒絶的な態度を見せないほうがよい。
- ④ 利用者との対話では、親しみをこめて、なるべくくだけた口調で話すほうがよい。

テキストP11 参照

問題2. 障害者総合支援法の主なポイントを要点のみ簡単に書いて下さい。

<5点>

(1)

①

②

(2)

①

②

(3)

①

(4)

①

②

(2) 重度肢体不自由者の地域生活等に関する知識

テキストP13~15参照

問題 3. サービス内容について読んで書いて下さい。

<10点>

① 自立支援給付を読んでサービスの名前を書いて下さい。

	自宅で、入浴・排泄・食事の介護等を行う
	重度の肢体不自由者で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴・排泄・食事の介護、外出時における移動支援などを総合的に行う。
	自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う。
	常に介護が必要な人の中でも、介護の必要性がとても高い人に、居宅介護等の障害者福祉サービスを包括的に行う。

② 地域生活事業を読んで適切なサービスの名前を書いて下さい。

	障害のある人、その保護者、介護者などからの相談に応じ、障害福祉サービスの利用に関する支援、情報提供等を行う。
	屋外での移動が困難な障害者等について、円滑に外出ができるよう移動を支援する。マンツーマンの個別支援と一人対4人までのグループ支援がある。外出前後の代筆、代読を含む。通院は利用できない。
	重度障害のある人等に対し、自立生活支援用具等日常生活用具の給付又は貸与を行う日常生活用具を購入前の申請により給付する。
	聴覚や言語機能障害者に手話通訳や予約筆記者の派遣等を行う。

(1) 基礎的な介護技術に関する知識

テキスト P47 参照

問題 1. 食事介助の食前準備の注意点を書いて下さい。

<15点>

食前の準備

①

②

③

テキスト P48 参照

問題 2. 食事介助の実際について書いて下さい。

食事介助の実際

①

②

③

テキスト P48 参照

問題 3. 食事介助の食後介助の注意点を書いて下さい。

食後の介助
①
②
③

テキスト P50・51 参照

問題 4. 排泄介助について、テキストをよく読んで答えて下さい。

<5点>

① 摘便とは、
② 洗腸（グリセリン洗腸）とは、
④ 人工肛門（ストマ）とは、

(1) 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する知識

テキストP37~42参照

問題1 以下の選択肢から正しいものを1つ選び、丸をつけて下さい。

<5点>

1. 脳性麻痺はスポーツや交通事故などで引き起こされる障害である。
2. パーキンソン病には伝染性はない。
3. 進行性筋ジストロフィー症には筋肉の緊張を抑えるために薬物療法が効果的である。
4. 頸椎損傷は先天性の障害である。

問題2 次の(ア)~(エ)の障害に関する記述のうち、最も適切なものの組み合わせを①~④の中から一つだけ選び、解答欄に記入してください。

<5点>

- (ア) 交通事故等により重度の運動障害が生じた場合、車椅子と、ベッドや便器間の移乗や、入浴の際にリフトを活用することは、介助の軽減になる。
- (イ) 生後まもなくまでに起こった障害のため、当事者は自分の状態に合わせて独自の方法で日常生活動作を行っていることが多い、介助に際しては本人の指示に基づき、時には尋ねながら行う。
- (ウ) 筋力の低下により、徐々に心肺機能が低下してくる。人工呼吸器の利用など医療的ケアも必要になってくる。
- (エ) 遺伝性はなく、中途障害である。薬物療法やリハビリテーションを交えた治療が効果的である。

① (ア)脊髄損傷 - (イ)脳性麻痺 - (ウ)筋ジストロフィー - (エ)パーキンソン病

② (ア)脊髄損傷 - (イ)知的障害 - (ウ)脳性麻痺 - (エ)精神障害

③ (ア)四肢切断 - (イ)筋ジストロフィー - (ウ)知的障害 - (エ)脳血管障害

④ (ア)四肢切断 - (イ)脳性麻痺 - (ウ)知的障害 - (エ)肢体不自由

(2) 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する知識

テキストP37~42参照

課題 テキストで紹介されている障害の中から3つ選んで簡単に説明して下さい。 <10点>

- ① 脳性麻痺
- ② 脊髄損傷
- ③ 進行性筋ジストロフィー症
- ④ アメリカ精神遅滞学会による知的障害の定義
- ⑤ 統合失調症
- ⑥ うつ病

(3) 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する知識

テキストP43~46参照

問題1 感染症について間違っているものを2つ選び、丸をつけて下さい。

<5点>

1. 重度筋ジストロフィーなど、風邪が命取りになる障害者の介助に入る際は、軽いかぜ気味であったとしても、所属事業所に連絡して介助者を交代してもらう。
2. エイズやC型肝炎をもっている利用者でも、鼻血や怪我の出血に気をつければ、通常の介護は可能である。
3. インフルエンザが流行している時期の外出は車より電車を使う。
4. MRS Aに感染しても、健康な人は、ほとんど無症状で過ごし、自然に菌が消滅するので介護者は介護をしたらその都度手洗いやうがいをしなくてもいい。

問題2 要介護者がチューブ類を挿入している場合の注意点を3つ述べて下さい。また、経管栄養について説明して下さい。

<5点>

要介護者がチューブ類を挿入している場合の注意点

経管栄養とは、

(4) 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障害及び支援に関する知識

あなたの介助先の障害者と共同で、自立を希望している人工呼吸器利用者（入院中）の自立支援をすることになりました。人工呼吸器マニュアル「ベンチレーターはパワー」を読んで答えてください。

テキスト P79 参照

問題1 ベンチレーター（人工呼吸器）の定義を書いてください。

<5点>

テキスト P82 参照

問題2 換気量が少なくなると起こる症状を述べて下さい。

<5点>

(1) コミュニケーションの技術に関する知識

テキストP106～110参照

問題1 発語でのコミュニケーションが困難な障害者を支援する道具について、以下の3つを説明しなさい。

<5点>

文字盤	<p>① 文字盤：</p> <p>② 透明文字盤：</p>
トーキングエイド	
伝の心	

テキストP 2～9参照

問題2 言語障害のある方とのコミュニケーションについて、間違っているものを3つ選び、丸つけて下さい。

<5点>

- 1、話の一部が聞き取れなかつたとしても、聞き直すことは相手にとって大変失礼なことである。聞き逃さないように細心の注意を払わなくてはならない。
- 2、ゆっくり話す方に対しては、時間がもつたないので、介護者側で話がスムースに進むよう、話を運ぶようにしたほうが良い。
- 3、相手の発語（言葉）を聞くと共に、言葉だけでなく相手の非言語でのサインにも留意し、相手がなにを伝えたのか知る姿勢が大切である。
- 4、馴れてくれば、なんとなく相手が何を話しているのか分かってくるので、何を話したかどうかの確認は要らない。

(2) コミュニケーションの技術に関する知識

テキストP2・3参照

問題1 障害者の私生活に対しての守秘義務と、介助者との関係の中での守秘義務を説明してください。<10点>

①障害者の私生活に対しての守秘義務：

②介助者との関係の中での守秘義務